

# 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS

小さい秋 見つけた！  
収穫される順番を待つ柿たち。  
オレンジ色から、さらに赤く  
なって、おいしそう。

## 内 容 CONTENTS

■ 第3回定例会の概要	2
■ 令和3年度決算の認定について	4
■ 一般質問	5
■ 委員会審査のあらまし	10
■ 主な議会のうごき	11
■ 行政視察・所管事務調査	12
■ 傍聴規則の改正について	13
■ 市民の声 ほか	14

# 第3回定例会

第3回定例会は、8月18日（木）から9月15日（木）までの29日間の会期で行われました。

本会議1日目に、老松市長の市政報告が行われたほか、市当局提出の人事案5件に同意、単行案1件を原案可決しました。

本会議2日目・3日目の一般質問では、9人の議員が市政全般について、市当局に質問しました。

また、本会議4日目には、条例案6件、単行案3件、補正予算案8件をそれぞれ原案可決、令和3年度大仙市一般会計、特別会計および企業会計決算19件を認定したほか、陳情1件を採択し、意見書案1件を原案可決しました。

※第3回定例会の録画映像は、大仙市ホームページの議会のページでご覧いただけます。



本会議第4日 起立採決



各QRコードから録画中継  
(大仙市議会YouTubeチャンネル)に  
アクセスできます。

## 人事案

▼人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

【全会一致で同意】

鈴木農夫廣氏（太田地域・再任）  
齊藤由紀雄氏（西仙北地域・新任）  
佐藤和則氏（西仙北地域・新任）  
高橋利省氏（中仙地域・新任）  
藤原瑞永氏（太田地域・新任）

## 条例案

▼大仙市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、非常勤職員の育児休業の取得要件を緩和するものです。

▼大仙市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【全会一致で可決】

省令改正に伴い、地方活力向上地域特定業務施設整備計画の認定を受けた事業者に、固定資産税の軽減措置を講じた場合の地方交付税の減収補填制度が延長されたことに伴い、本市条例においても期間などを見直すものです。

▼大仙市川のまち歴史交流の杜まち条例の制定について

【全会一致で可決】

旧本郷家住宅、旧北島家住宅および旧荒川家住宅の旧家群について「川のまち歴史交流の杜」として、令和4年10月1日から供用開始するものです。

## 単行案

▼四ツ屋公民館改築事業建築工事請負契約の締結について

【全会一致で可決】

3億4650万円で、佐々木組・荒屋舗建設特定建設工事共同企業体と工事契約を締結するものです。



四ツ屋公民館完成予想図

▼字の区域の変更について

【全会一致で可決】

協和地域の協和川口地区農地集積  
加速化基盤整備事業の施行に伴い、  
字界を変更するものです。

補正予算案

▼令和4年度大仙市一般会計補正予  
算(第4・5号) 【全会一致で可決】

歳入歳出予算の総額にそれぞれ5  
億9580万1千円を追加し、補正  
後の総額は454億9501万8千  
円となりました。

主なもの

- 社会保障・税番号制度システム整  
備費(マイナンバーカードを利用  
した行政手続きのオンライン化に  
向けたネットワーク環境の整備費)  
676万1千円
- 空き家等対策費(空き家解体補助  
金の拡充) 3000万円
- JR大曲駅西口民有地利活用構想  
策定負担金(民有地の利活用の構  
想策定に係る経費の市負担金)  
501万6千円
- ウクライナ避難民等支援事業費(ふ  
るさと納税制度の寄附金を活用し  
たウクライナからの避難民に対す  
る支援金) 100万円

○民間保育所等整備事業費補助金(認  
可保育所の建設費に対する補助金)  
1億4413万1千円

○新型コロナウイルスワクチン接種  
事業費(4回目のワクチン接種に  
要する経費) 6823万6千円

○貨物自動車運送事業者支援給付事  
業費(市内貨物運送事業者の燃料  
の掛かり増し分の一部に対する補  
助金) 2356万8千円

○払田柵跡環境整備事業費(払田柵  
跡の復元外柵南門再整備に係る工  
事費) 1468万9千円

○住宅リフォーム支援事業費(実績  
見込みによる住宅リフォーム支援  
事業費補助金の増額) 1500万円

○農地農業用施設災害復旧事業費(大  
雨で被災した水路および農道の復  
旧経費等) 774万3千円

○林業施設災害復旧事業費(大雨で  
被災した林道の復旧経費) 2388万9千円

○道路橋りょう災害復旧事業費(大  
雨で被災した市道の復旧経費) 542万4千円

○河川災害復旧事業費(大雨で被災  
した河川の復旧経費) 81万6千円

▼令和4年度大仙市学校給食事業特  
別会計補正予算(第1号) 【全会一致で可決】

▼令和4年度大仙市スキー場事業特  
別会計補正予算(第2号) 【全会一致で可決】

▼令和4年度市立大曲病院事業会計  
補正予算(第1号) 【全会一致で可決】

▼令和4年度大仙市上水道事業会計  
補正予算(第1号) 【全会一致で可決】

▼令和4年度大仙市簡易水道事業会  
計補正予算(第1号) 【全会一致で可決】

▼令和4年度大仙市下水道事業会計  
補正予算(第1号) 【全会一致で可決】

陳情

▼地方財政の充実・強化を求める意  
見書提出に関する陳情  
【全会一致で採択】

意見書

▼地方財政の充実・強化を求める意  
見書  
【全会一致で可決】

こちらから  
本会議資料  
(大仙市ホームページの  
議会のページ  
にアクセス  
できます。)



第3回定例会賛否一覧

議案等名	議決結果	大地の会					だいせんの会					新政会			公明党	市民クラブ	日本共産党									
		鎌田 正	金谷 道男	大山 利吉	佐藤 育男	後藤 健	山谷 喜元	安達 成年	青柳 友哉	高橋 敏英	佐藤 芳雄	古谷 武美	石塚 柏	橋村 誠	高橋 徳久	戸嶋 貴美子	渡邊 秀俊	小松 栄治	小笠 原昌作	橋本 琢史	本間 輝男	秩父 博樹	挽野 利恵	佐藤 隆盛	佐藤 文子	
議案第97号 令和3年度大仙市一般会計 歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●

欠席者は欠、賛成者は○、反対者は●とします。議長は採決に加わりません。

# 令和3年度決算を認定

9月5日・6日に三つの委員会それぞれ所管する部分の令和3年度決算審査が行われました。

## ◆各委員会の主な審査意見（各意見の中から一部を掲載しています）

### 総務企画常任委員会

○職員人件費に関連して、感染症のまん延や、頻発する災害などに対応しつつ、地域の行政サービスを維持していくためには、専門知識と現場対応力を持った公務員の力が必要である。定員適正化計画もさることながら、業務量や行政需要を鑑みた組織機構づくりや、職員配置の適正化を図り、組織の強化に努められたい。

○ICT推進費に関連して、実施された業務量調査の結果をもとに、職員が「コア業務」に専念できる環境づくりを進められたい。また、窓口や手続きのDX推進により、市民の利便性向上につなげるとともに、全ての年代がその恩恵を受けられるよう、デジタルデバイスなどの解消策について引き続き取り組まれたい。

○移住定住促進課の事業に関連して、大仙市は米の一大産地としても知ら

れるように農業が大変盛んな地域であるが、本地域で産出される米や農産物を生かした加工・商品化に力を入れることで、新たな付加価値の創出等が図られ、移住希望者への魅力喚起につなげることができないのではないかと。大仙市の持つ魅力や強みを生かし、関係する各部門と連携した移住定住施策を展開されたい。

### 教育厚生常任委員会

○国民健康保険事業について、厳しい財政状況が続くと予想されることから、健康福祉部と連携し、国保加入者への医療費抑制に関する周知や健康寿命延伸につながる事業の実施により、その推進に引き続き努められたい。

○保育施設等法人に対する支援について、法人を存続するために必要な支援であることは理解できる。今後の支援の在り方については、長期計画の中で市全体の幼児教育、保育の質を最大限に維持できるよう努められたい。

○通園バスやスクールバスの運行について、少子化の影響により保育所や認定こども園、小中学校等の児童

生徒数が減少し、バスの利用人数も減少傾向にあるが、保育施設や学校の統合により遠距離通学区域が増加し、バス運行経費の増加が懸念されることから、所管する部局で情報を共有し、経費削減につながる効果的かつ柔軟なバス運行を図られたい。

### 産業建設常任委員会

○ネットワーク型園芸拠点整備事業について、高収益作物の産地化・生産拡大のため、今後も整備を進める必要がある。行政のみならず、農業団体や生産者と連携し、取り組まれたい。また、事業の効果や実績を把握・分析し、事業展開を図られたい。

○消費拡大商品券交付事業費について、市民に密着している事業であり、市の独自性を出せる重要な事業と考える。市民には分かりやすく、使いやすく、事業者には換金しやすい事業となるよう、その都度検証を重ねながら、市民ニーズに合った事業展開をされたい。

○温泉施設について、市民や利用者にとって、温泉は憩いの場であり、身近に必要な施設である。しかしながら、健全な経営のためにも、多方面から利用者の声を聞き、経営に関する検討会を設置するなど、なお一層の経営改善に努められたい。

### 【反対討論】

佐藤 文子 議員（日本共産党）

公務の現場が正職員とほぼ同数の会計年度任用職員がいなければ成り立たなくなっている中で市の職員の削減予算であること。また、マイナンバーカードを使って集積したデータが企業のもうけのタネとして活用されることや、蓄積データの情報漏えいを防ぐ完全なシステム構築が不可能なことが危惧されるマイナンバー制度の推進予算であることを理由に反対した。本決算はその執行であり、認めることはできない。

### 【賛成討論】

安達 成年 議員（大地の会）

経常収支比率は前年度より改善されており、財政調整基金、公共施設適正管理基金の積み増しなどにより積極的に財源確保の努力がされていることや、ふるさと納税額が過去最高額となったことは大いに評価すべきと考える。さらに、市独自の経済対策であった主食用米次期作支援事業や消費拡大商品券事業の実施も評価する。これからも健全かつ適正な財政の運営を求めるとともに、市民一人一人の幸せが実現することを大きく期待し賛成する。



秩父 博樹 議員 (公明党)



Q 水道管維持管理にAIの活用を研究すべき

A 積極的に進めていきたい

質問 管路の維持管理費を抑制するため、AIの活用について研究すべきと考えるがいかがか。

上下水道事業管理者 管路更新は、埋設してからの年数を基にした「老朽度」や漏水事故など、不測の断水時における影響度合いを基にした「重要度」等により優先順位を定めて行っているのが一般的であり、本市においても同じ考えで進捗を図ってきた。

近年は、AIを活用した管路の劣化診断を導入する水道事業者が増加傾向にあり、一定の効果が得られていると伺っている。

本市において管路の漏水修理件数は、年々増加傾向となっている。

漏水の原因は管路の老朽化によるものとは限ら

ず、管路の材質や埋設状況など、さまざまな影響が関与しているものと考えられ、老朽管の更新のみでは予防保全的に全ての漏水を防ぐことは難しいものと認識している。AIを用いた管路の劣化診断は、水道施設のほか、環境データなどさまざまな影響要素を基に、今後の管路更新時期を予防保全の考えで予測し可視化するものであり、活用の仕方によっては「効率的な管路更新」や「漏水事故の未然防止」につながり、結果として「維持管理費の削減」が期待できるというものである。

このAIを用いた劣化診断は、更新時期の予測精度を評価する意見がある一方で、さらなる精度向上を求める意見もあるが、導入する水道事業者が増加傾向にあることから、維持管理の効率化に期待が持てる手法であると考えている。

情報収集を図りながら、AI活用の可能性や費用対効果等の研究を積極的に進めてまいりたい。



橋本 琢史 議員 (新政会)



Q 農畜産物のブランド化について

A 重点品目の生産動向、ブランド化の意向を捉え、県や近隣市町と連携していく

質問 稼げる農業を実現させるため、高収益作物の園芸品目選定および特産品の確立について伺う。

農林部長 農業経営の安定化を図るため、稲作を柱としながらも経営複合化を推進しており、より一層の所得の向上を図るためには重要な取り組みであると認識している。ブランド化に向けた品目選定に当たっては、営農技術や流通販売等、総合的なノウハウを有するJ A秋田おばことの連携が不可欠である。ブランド化に対する意向を確認したところ、市場評価を得ている園芸11重点品目について、各生産部会を中心に販売戦略を推進すると伺っている。



◆消防团组织および地域防災強化について

質問 消防団(支団)に運営費の支給はできないか。

総務部長 消防施設の維持管理(草刈り等)および団運営に関する費用は、国では年額報酬に含むものとしており、本市でも費用弁償の支給対象としている。草刈り等の管理活動に伴う燃料費等の必要経費は、調査を行った上で支給方法を検討し、操法訓練大会に係る装備品については、今後、団幹部と相談させていただきたい。

質問 消防サイレンが故障した際には、更新をお願いしたい。また、迅速な避難情報発信のため、防災ラジオを全世帯に無償配布できないか。

総務部長 消防サイレンは消防団員の招集用、併せて地域住民に危険を知らせる目的で使用しており、故障した際は更新しないものとしているが、情報伝達手段も考慮しつつ、改めて地域の皆さまと協議させていただきたいと考えている。防災ラジオの全世帯無償配布は、これまで無償貸与を進めてきた中で「必要ない」とする方も多かったが、情報伝達手段として有効であると考えており、需要などを調査した上で、改めて検討してまいりたい。



戸嶋 貴美子 議員  
(だいせんの会)

Q 子どもの貧困対策について具体的な対策を伺う

A 2歳から5歳までの保育料無償化で応えたい

議長より許可をいただき、手話を交えて質問をしております。

**質問** OECD（経済協力開発機構）加盟国の中で日本は貧困率が21番目である。各種調査によると、7人に1人が貧困状態、そのうちの半数がひとり親世帯、また、全国のひとり親世帯の約7割がコロナ禍で収入が減ったとの回答結果であった。ふるさと納税等で、貧困に係る基金を設立することは可能か。また、無園児は家庭の貧困と密接な関係があると指摘されているが、無園児を減らす取り組みについて、市の考えを伺う。

**健康福祉部長** 現在市は、ふるさと納税を原資とした「ふるさと応援基金」を活用して子育て世帯の支援を行っていることから、貧困の子どもに限

定した基金創設は行わず、今後も「ふるさと応援基金」による支援の充実に努めてまいりたい。

無園児は、今年4月1日時点で320人で、この割合は0歳から5歳児全体の13パーセントである。保育料については、国・県・市が連携して3歳から5歳児の保育料の無償化に加え、今年9月からは2歳児の保育料無償化も実施していく。保育料は世帯の所得に応じており、減免措置もあり、全ての子育て世帯の支援に努めている。

**質問** 「子ども・子育て会議」を設置したが、「大仙市子ども・子育て支援事業計画」と「大仙市子どもの貧困対策に関する推進計画」を推進するために、ひとりで負担を抱えている親御さんをメンバーに入れて、大仙市で子育てをしたい、そう思える会議にできないものか伺う。

**健康福祉部長** 子ども・子育て会議のメンバーについては、2年の任期になっており、現在13人のメンバーがいる。いろんな分野の方々から意見がいただける仕組みづくりになっており、この組織を生かして子育てに充実した支援ができるように取り組んでまいりたい。



佐藤 隆盛 議員  
(市民クラブ)

Q ご飯代に係る部分的な給食費用の無償化から始めては

A 部分的な給食費用の無償化も含めて、しっかり検討したい

**質問** 全国でも給食無償化に踏み切る自治体が出てきている。市長の存在感を示すために、やれるのかやれないのかはっきりさせては。

**市長** 大都市でも今、給食無償化を始めているところもあることも認識している。私も子育て支援に力を入れていくんだということを公約の一つにしており、「子育て支援制度等検討会議」の中でも学校給食費について検討している。持続可能な施策、持続可能な財源を確保した上での施策の実施と決断になるので、令和5年度予算編成に向けて、しっかりと検討させていただきたい。

**質問** 大仙市は米の収穫量全国第2位であることから、主食であるご飯代に係る部分的な費用の無

償化から始めてはどうか。

**市長** 私どもの検討したことのない分野、切り口でのご提案であった。それも含めてしっかり検討させていただきたい。

◆視覚障がい者の現状と対応について

**質問** 視覚障がい者に対し、窓口対応や連絡方法は万全か。また、市道の点字ブロックの整備管理について伺う。

**健康福祉部長** 視覚障がい者への窓口対応は、書面の確認が困難であることから、同行者がおらず一人で窓口にお見えになった場合は、手続きに関する説明を行った後に、本人の同意を得た上で手続きを代行するなど、不便を感じることもないようサービスの提供に努めている。

点字ブロックの管理は、道路パトロールや市民からの通報により損傷が確認された場合に、速やかに補修等の対応を行っている。今後も特に傷みが生じやすい雪解け後などは重点的に点検を行い、常に健全化を図ってまいりたい。



## 安達 成年 議員

(大地の会)



**Q** 学校適正規模化に向けての学校統合について

**A** 中仙地域と太田地域の学校再編について検討を重ねている

**質問** 将来の児童生徒数に目を向け、積極的に市が具体的な学校の数、統廃合も含めた方針を市民に示す必要があるのではないか。

**教育長** 今後の児童生徒数の予測や本市の地理的な条件を踏まえると、学校規模の適正化のみに主眼を置いた学校統合には限界があり、幅広い視野からの検討が求められている。まずは中仙地域と太田地域の学校再編にしっかり取り組み、他の地域の学校再編の具体を早く示せるよう努めていく。

### ◆大空大仙の経営改善計画について

**質問** 少子化に伴う良質な教育・保育を維持するため、経費も含めた長期的な改善計画を作成してほしい。



## 挽野 利恵 議員

(公明党)



**Q** 児童生徒の目の健康維持の取り組みは

**A** 児童生徒、保護者へ周知・啓発を図っている

**質問** 本市における裸眼視力1.0未満の児童生徒数は。

**教育委員会事務局長** 本市の裸眼視力1.0未満の児童生徒数は、令和3年度学校保健調査では、小学生912人、33.1パーセント、中学生492人、40.4パーセントとなっており、令和元年度の同調査と比較すると小学生が50人、4.4ポイント増加し、中学生は21人、0.6ポイント減少している。

**質問** パソコンやタブレットを使って学ぶ児童生徒の目の健康維持についての対策は。

**教育委員会事務局長** 小・中学校の保健の授業で、パソコンやタブレットの適切な使い方と目の健康について学習している。また、養護教諭が作成する保健だよりや児童生徒集会で目の健康を取り上

**市長** 計画期間を5年間として、集中して法人の立て直しを図る。今後は、将来的な出生数の減少や小中学校の統廃合計画に合わせ、子育て世帯が将来に希望を持ち、安心して子育てができる環境整備に努め、「子育てするなら大仙市で」と本市を選んでいただけるよう、法人と力を合わせ取り組んでいく。

### ◆JR大曲駅西口民有地の利活用について

**質問** 構想策定業務の市負担金の妥当性および必要性があるのか。

**企画部長** 今後設立される「(仮称)大曲駅西口民有地利活用検討会議」が担うことになるが、マンションを核に商業機能や行政機能を加えるなどのアイデアがあることから、公共性・公益性の高さから市も関わりを持ち、それらの機能を担う三者で均等に構想策定業務の負担をすることとした。市が事業実施主体になることはないが、民間主体による取り組みが魅力あるまちづくりにつながる構想となるよう関係各位と連携を図っていく。

げたり、学級活動でメディアのよりよい使い方を話し合ったりするなどさまざまな取り組みをしている。加えて、学校でタブレットを利用する機会が増えてきたので、教室の明るさ、姿勢、利用時間等にも配慮している。

教育委員会では保護者用のリーフレットを作成し、端末を利用する際の健康面での留意点や利用時間等のルールについて触れ、保護者への啓発も図っている。

### ◆電気料金の助成について

**質問** 原油価格・物価高騰の中、市内事業者の経営を支援するため、電気料金を助成できないか。

**佐藤副市長** 長期化するコロナ禍で、各自治体在必死に地域経済の再活性化に努めているが、追い打ちをかけるような原油価格高騰に伴う電気料金や燃料費、あるいは物価の上昇は、事業者の経営や市民生活に大きな影響を与えている。

市では原油価格高騰対策として昨年度実施した「福祉灯油購入助成事業」や、「社会福祉施設および園芸農家燃油助成事業」の継続実施も検討しているが、国や県の支援動向に注視しながら、市民の皆さまの生活への影響も考慮し、支援策を講じていく。



**小笠原 昌作 議員**  
(新政会)



**Q** 今後の新型コロナウイルスの感染防止対策は

**A** 引き続き基本的な感染防止対策の徹底やワクチン接種などと呼び掛ける

**質問** 第7波の到来により大仙保健所管内の感染者が急増している。具体的な感染防止対策を改めて徹底すべきでは。

**今野副市長** 若年層のワクチン接種率が低い傾向にある。引き続きワクチン接種の効果や安全性に関する情報提供を積極的に行っていく。9月1日より、新たに市内14の医療機関のご協力をいただき、より身近な、かかりつけ医においてもワクチン接種を受けられるようにすることで、接種率向上に努めてまいりたい。県内では、医療体制が逼迫しているが、市でも医療体制が崩壊しないよう、基本的な感染防止対策の徹底を、引き続きしっかりと市民の皆さまに注意喚起してまいりたい。



**青柳 友哉 議員**  
(大地の会)



**Q** 若者向け移住定住促進策の助成要件を緩和しては

**A** 要件緩和を含め、効果的な制度を研究していく

**質問** 「大仙市雇用助成金制度」の中には、県外から移住する原則45歳未満の者を雇用する企業に対して、被雇用者の入社準備経費を支援する助成金がある。これを、県外からの移住に限定せず、県内都市部からの移住も対象としてはどうか。なお、県内の大学や短大の卒業者は毎年2千人以上いるが、これらの学校はすべて大仙市外にある。

**企画部長** 大仙市雇用助成金制度は、雇用機会の拡大と若年層の地元定住を促進し、地元企業の振興と地域の活性化に寄与することを目的とする。制度の見直しを図りながら、長きにわたって地元企業への支援として実施してきた。昨今は、新規高卒者の高い県内就職率や、コロナ禍を契機とした価値観の変化、働き方の多様化など、社会情勢

### ◆農家への生産資材高騰対策について

**質問** 農家が使用する燃油・電気代・生産資材等の高騰により、支援が急務となっている。国や県への要望とともに市独自の支援策を検討すべきでは。

**農林部長** 国では、肥料価格の高騰に直面する農家の支援として、新たに肥料価格高騰対策事業を創設し、化学肥料の低減に向けた15項目のうち、二つ以上に取り組む農業者に対し、本年の秋肥と来年の春肥として使用する肥料の価格上昇率に使用量低減率9割を乗じた額の7割を支援金として交付することとしている。

市独自の取り組みは、要件となる化学肥料使用量の削減に向け、耕畜連携の実践に向けた堆肥散布機械等の導入を支援していく。また、燃油高騰対策として、昨年度実施した原油高騰対策事業をベースに支援策を検討していく。

燃料・肥料・飼料等、農業生産資材高騰対策では、国に対し、秋田県市長会を通じ、本市が提案市となって支援の充実や事務手続きの簡素化を要望している。なお、電気料の高騰対策は、国や県の支援の動向を注視しながら対応していく。

が大きく変化している。また、大学進学者等のAターンを促進する効果的な対策が必要となっている。そのため、さらなる制度の見直しや拡充が必要であると認識している。今後、要件緩和も含め、時代やニーズにあった支援の在り方を模索していく。

**質問** 「大仙市移住支援制度」の3事業は、どれも県外からの移住者を支援対象としているが、県内都市部からの移住者も支援対象に含めてはどうか。また、同制度内の「若者・子育て世帯家賃支援事業補助金」を、若者の単身者世帯に対しても支給してはいかがか。

**企画部長** 現在、第2期移住・定住促進アクションプランの事業の検証や見直しなどを行いながら、第3期となるプランの策定を進めている。本市に移住された方や、地元企業の代表者などで構成する移住支援検討会議で意見を伺うとともに、本市の制度を活用して移住された方々へのアンケートも行うなどして、移住支援制度の充実を図っていく。



**佐藤 文子 議員**  
(日本共産党)



**Q** 宿泊施設建設の再検討を

**A** 十分な協議の上、承認されたもの

**質問** 花火出品業者宿泊施設建設に対し、反対や批判の声が多く寄せられており、市長はこうした声に耳を傾けるべきである。大曲商工会議所が実施主体だからとして黙認し、建設を強行することは問題だ。花火産業構想第Ⅱ期の共同策定者として、再検討すべきと考えるがどうか。

**経済産業部長** 当事業は、構想策定4団体によるプロジェクト会議において十分な協議の上、アクションプランへの追加が承認されたもの。当事業は実施主体である大曲商工会議所で既に機関決定された事業であり、さまざまな意見に配慮しながら進められていくものと考えている。

◆住宅リフォーム支援事業の改善について

**質問** 住宅リフォーム支援事業の「住環境改善工事」について、対象工事額を20万円以上から10万円以上に引き下げ、一般的な屋根の塗装も補助対象とすることが可能となるよう「住居保全工事」を組み入れることができないか。

**建設部長** 住環境改善工事は、衛生設備、省エネルギー化、バリアフリー化など、住宅機能の強化を図ることを目的とし、住宅の保守や維持的な内容を対象にできないことで、申請される方からご理解をいただいている。また、工事金額も、今年度から全ての対象工事を税抜き20万円以上とし、さらに、同一住宅で補助上限額までしか申請できなかった補助を5年度経過ごとに再度申請できるリセット制度を取り入れ、リフォーム工事を計画的に実施される方へ支援できるよう見直したところである。今後も現行の制度を運用してまいりたい。



**議長交際費**

(7月1日～9月30日)

項目		件数	金額
予算額			850,000円
既支出額 (4～6月)		10件	65,610円
支出額		18件	258,200円
内訳	弔慰	3件	40,000円
	慶祝	10件	183,200円
	協賛	5件	35,000円
予算残額			526,190円

**12月定例会日程のお知らせ**

- 11月25日(金)**  
本会議第1日 (市政報告、会期の決定、議案等上程)
- 12月6日(火)**  
本会議第2日 (一般質問)
- 12月7日(水)**  
本会議第3日 (一般質問、議案質疑、委員会付託)
- 12月8日(木)・9日(金)**  
常任委員会審査
- 12月15日(木)**  
本会議第4日 (委員長報告、質疑、討論、表決)

本会議及び委員会は公開されており、傍聴することができます。

※現時点での予定であり、変更される場合があります。  
変更内容は随時、議会ホームページでご案内しています。  
※12月定例会で審査される請願・陳情は、11月16日(水)まで提出されたものです。それ以降に提出されたものは、次の定例会での審査となります。

## 教育厚生常任委員会の 審査のあらまし

単行案1件、補正予算案3件、決算認定案7件を審査し、次のような質疑がありました。

### ●四ツ屋公民館改築事業建築工事請負契約の締結について

**【問】**この豪雪地帯において、屋根が平らであるが、積雪の影響による施設被害等の対応をどう考えているか。

**【答】**積雪2メートルまで耐えられる設計であるが、その年によって積雪状況も異なることから、施設管理者と連絡を取りながら対応していく。

### ●令和4年度大仙市一般会計補正予算（第4号）

#### PCR検査センター事業費（新型コロナウイルス対策）

**【問】**種苗交換会の期間、PCR検査センターを健康福祉会館に移転することだが、種苗交換会終了後に武道館にまた戻ってくることになるのか。

**【答】**種苗交換会終了後も、健康福祉会館で3月末まで継続する予定となっている。

#### 教育委員会事務局所管の原油価格高騰に伴う電気料等の補正について

**【問】**大手電力事業者以外の電力事業者の中には、原油価格高騰の影響により、経営が厳しくなっているところもあるとの話を聞くが、契約している電力事業者からは、経営が厳しいという話は出ていないのか。

**【答】**契約している電力事業者からは、経営が厳しいといった声は届いていない。

### ●令和4年度市立大曲病院事業会計補正予算（第1号）

**【問】**トイレ増設改修工事とあるが、どういった理由で増設するのか。

**【答】**現在、受け入れる入院患者の高齢化に伴い、認知症の方が多く入院されるようになったが、精神科病棟に介護を必要とする方が使用する多目的トイレが無いため、新たに増設するものである。

## 総務企画常任委員会の 審査のあらまし

条例案1件、単行案1件、補正予算案1件、決算認定案7件、陳情1件を審査し、次のような質疑がありました。

### ●大仙市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**【問】**会計年度職員の育児休暇取得で「任期が継続しないことが明らかでない」ことが要件とされているが、これは採用されない場合があることも含む意味か。

**【答】**任期が終了しないことが明らかでない限り、取得可能であるという意味である。

### ●令和4年度大仙市一般会計補正予算（第4号）

#### 空き家等対策費

**【問】**物件が空き家となる前段階からの対策強化をうたっているが、民生委員や福祉施設等と連携した具体的な取り組みとは。

**【答】**現在、空き家の管理や活用法、利用できる補助制度や解体事業者などの情報を盛り込んだパンフレットを作成している。これを民生委員や福祉施設などにも配布することで、居住者の施設入所などにより、空き家化する恐れのある建物の管理や活用を事前に考えていただく機会となるよう見込んでいる。

#### JR大曲駅西口民有地利活用構想策定負担金

**【問】**大曲駅前の民有地の開発事業実施に当たり、関係者による検討会議を設けて構想策定を進めていくとのことだが、市民の意見はどう取り入れるのか。

**【答】**構想策定業務をコンサルティング業者に委託するが、その業務内容には、市民から意見を聴取するサウンディング調査も含まれている。これのみでなく、市としても機会を捉えて、市民の方々から意見を伺ってみたい。

◇陳情第9号「地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情」は、願意を妥当とし、採決の結果「採択すべきもの」と決しました。

## 主な議会のうごき

### 7月

- 1日 広報広聴常任委員会
- 4日 教育厚生常任委員会所管事務調査
- 12日 広報広聴常任委員会
- 13日 産業建設常任委員会行政視察

### 8月

- 10日 議会運営委員会  
総務企画常任委員会所管事務調査  
産業建設常任委員会所管事務調査
- 18日 第3回定例会（第1日）  
議員説明会  
議員全員協議会  
広報広聴常任委員会
- 25日 産業建設常任委員会所管事務調査
- 30日 第3回定例会（第2日）  
広報広聴常任委員会
- 31日 第3回定例会（第3日）

### 9月

- 1日 各常任委員会審査  
総務企画常任委員会協議会  
産業建設常任委員会協議会
- 5日 各常任委員会審査（決算）
- 6日 各常任委員会審査（決算）
- 13日 議会運営委員会
- 15日 第3回定例会（第4日）  
議員全員協議会

## ようこそ 大仙市へ

行政視察の受け入れ状況をお知らせします。

### 7月

- 14日 茨城県神栖市議会  
(小中学校における学力向上の取り組みについて)
- 27日 神奈川県寒川町議会  
(小中学校における学力向上の取り組みについて)

### 8月

- 1日 埼玉県川口市議会  
(学力向上の取り組みについて)

## 産業建設常任委員会の 審査のあらまし

条例案5件、単行案2件、補正予算案6件、決算認定案7件を審査し、次のような質疑がありました。

### ●令和4年度大仙市一般会計補正予算（第4号）

#### 集落営農活性化促進事業費

**【問】**採択要件として、集落営農組織は法人化することが前提なのか。

**【答】**法人化は必須ではないが、ポイント制であるため、事業採択の際『法人化』は大きなウエイトになると思う。

**【問】**法人化支援策のうち、高収益作物の試験栽培支援は、県から試験栽培を依頼されるのか。また作物は決まっているのか。

**【答】**県から指定される作物はない。収益性の改善を目指した取り組みとして、自分たちで選択した作物を試験的に栽培するものである。

### ●令和4年度大仙市一般会計補正予算（第5号）

#### 蓄養殖施設等管理費

**【問】**普段であれば、施設の取水口付近にたまる木くずなどは関係者が取り除きに行くと思うが、今回は大雨で夜中の降雨であり、危険が伴うため除去作業に行けなかったと推察する。今後も災害発生は想定されることから、専門家から意見を聴くなどして、同じような災害が発生した場合でも1～2日は耐えられるような対策を検討してほしい。

**【答】**当該施設について、今年度事業により間もなく一定量の地下水の活用が可能となる。今後この点も併せて専門家の意見を取り入れながら検討してまいりたい。

#### 農地等災害復旧事業費補助金

**【問】**受益者負担は無いとのことだが、事業費は2,187万3千円で補正額は1,945万5千円とある。この差額分は何か。

**【答】**土地改良区が直接県へ申請し、補助金が県から直接土地改良区へ支払われるための差額分である。

## 総務企画常任委員会所管事務調査

8月10日（水）、「譲渡建物敷地の借地解消に向けた取り組み状況」および「市有林を活用した再造林の推進」の2件について、調査を行いました。

はじめに「譲渡建物敷地の借地解消に向けた取り組み状況」の調査では、東電化工業株式会社が借用している旧船岡小学校敷地の現況について、現地にて視察調査を行いました。

先の定例会において、旧船岡小学校の校舎部分は東電化工業株式会社へ無償譲渡されましたが、旧船岡小学校の校舎及びグラウンド敷地は民有地のため市が地権者から敷地を借り受けていることから、譲渡建物の敷地部分を同社に転貸借している状況です。

当局からは、この借地の解消に向け、同社と協議を進めつつ、地権者の皆さまに対しては、引き続き土地売却による借地解消交渉を行ってまいりたいとの説明がありました。

次に「市有林を活用した再造林の推進」については、大綱交流館において、産業建設常任委員会と合同で調査を実施しました。

大仙市の再造林面積が県内でも低調であることから、その向上を図る事業の一環として、西仙北ぬく森温泉ユメリア北西部に位置する7.79ヘクタールの市有林を、国で実施している再造林モデルの実証地として活用し、その結果をもって、民間における再造林の波及・普及を図ってまいりたいとのことでした。

事業主体は農林部であり、産業建設常任委員会の所管ではありますが、当委員会としても、市有財産の活用、また森林環境譲与税の活用という観点から、引き続き見守っていくべき事業であると感じたところでした。

（総務企画常任委員会

委員長 橋村 誠 記）



## 教育厚生常任委員会所管事務調査

7月4日（月）、「大曲仙北広域中央し尿処理センター」を視察しました。大仙市および美郷町から搬入されるし尿などの処理過程や新大曲仙北広域中央し尿処理センター施設整備事業についての説明を受けました。

現在の施設は、し尿、浄化槽汚泥及び農業集落排水汚泥、合わせて182キロリットルを1日に処理する能力があり、汚泥については脱水後に中央ごみ処理センターで焼却処分され、処理水については、きれいな水に処理し、玉川に放流しているとのことでした。

また、新しく整備される処理施設については、現在の施設の老朽化、搬入量の減少及び搬入物の性状の変動に対応していく必要があることから、し尿、浄化槽汚泥及び農業集落排水汚泥、合わせて136キロリットルを1日に処理する能力を備え、汚泥については脱水後にごみ処理センターの助燃剤として利用し、処理水については、脱水・希釈してから下水道へ放流する方式に変更するとのことでした。下水道へ放流する方式に変更することで、処

理コストの低減を図ることができるとのことでありました。

今後、令和7年4月1日からの施設運営開始に向けて、施設の設計・建設が行われるとのことで、その経過を見守っていきたいと思います。

（教育厚生常任委員会

委員長 大山 利吉 記）



大曲仙北広域市町村圏組合  
瀬川環境事業課長より説明を受ける

## 産業建設常任委員会行政視察・所管事務調査

はじめに、7月13日（水）、山形県酒田市を訪問し、「農業集落排水処理事業」について、行政視察を行ってまいりました。当日は実務に携わるということで、上下水道事業管理者・下水道課長・参事にも同行してもらい、専門的な見地からのご質問もいただきました。

次に、8月10日（水）、西仙北地域杉山田地内での「市民が森林と触れ合える憩いの森の森林空間の推進」について、現地で説明を受けました。併せて、国の事業「雄物川上流河川激甚災害対策特別緊急事業 大沢川樋門建設工事」の進捗状況の説明を受け、その後、総務企画常任委員会と合流して、「市有林を活用した再生林の推進」について、ドローンで撮影した現地の状況と資料により説明を受けました。

最後に、水田の有効利用と農業所得向上を図る上で、「大豆」を重要な作物と位置付けて、市ではさまざまな支援を行ってまいりました。今回、その効果の検証と取り組み状況を確認するため、8月25日（木）、大豆生産農家を訪問して生の声を聞いてまいりました。また、大豆

乾燥調製施設視察では、仙北地域振興局農林部長をはじめ、次長、農業振興普及課長、技師、市当局ともどもご同行いただき視察を行いました。

### 【8月25日 訪問先】

#### ◎大豆の生育状況について

- ・太田地域（農事組合法人アグリフォー太田）
- ・仙北地域（川戸賀大豆組合）
- ・花館地区（農事組合法人花館）

#### ◎大豆乾燥調製施設について

- ・おばこライス・大豆センター

（産業建設常任委員会

委員長 高橋 徳久 記）



山形県酒田市での研修



大豆農家から生育状況について説明を受ける

## 大仙市議会傍聴規則を改正しました ～議会の傍聴にぜひお越しください～

大仙市議会では、開かれた議会を目指し、より傍聴しやすい環境づくりを行うために議会傍聴規則の一部改正を行いました。傍聴は市民の代表である市議会議員の活動を間近に見ることができる機会ですので、ぜひお越しください。

### 主な改正内容は次のとおりです。

- 傍聴席に入ることができない者の項目にあった「精神に異常があると認められる者」の条文を削除しました。
- 市民にとって分かりにくい表現（談論、放歌、高笑等）については、社会情勢の変化等に合わせて変更を行いました。
- これまで、写真や動画の撮影および録音については原則禁止としていましたが、所定の申請をしていただくことで撮影等が可能となりました。

- 議長は、傷病や身体の障がい等の理由により配慮を必要とする者の対応のために協力を求められた場合には、その求めに応じていくとする旨の規定を新たに追加しました。
- ※本会議等を傍聴する際に手話通訳を希望する場合、手話通訳者の派遣依頼を希望者に代わって行います。



傍聴席



傍聴席から見た議場

「大仙市議会傍聴規則」の全文は、市議会のホームページで公開しております。



# 市民の声



市民の声というお題のとおり声を上げたいと思います。人は誰もが病気・老化というものに向かって生きています。年を重ねるたびに不便になっていく現状をどう考えておられるのでしょうか。例えば免許返納された方たちに対して今の対応で果たして皆さんが満足できるのでしょうか。不便になるから免許もなかなか返納できない現実。失うモノに対して与えるモノのバランスが整っていれば高齢者はいつまでも社会と関わって生きられます。実際、免許返納された方たちの生活・声を誰がどのような形で聞いて今の対応なのか疑問だらけです。実際に求めるモノと与えるモノの不一致がこの件に関してだけでなく有るような気がします。

市民一人一人の声に対応するのは難しいことかも知れませんが、誰もが迎えるこの問題に対しては、もっといろんな対応を今から準備していく必要があるのではないのでしょうか。高齢者が安心して最後まで社会と関われる社会人として生活していけるそんな街であってほしいです。

(大曲地域・60代女性)

## 皆さまの声をお寄せください

大仙市議会では、皆さまからの声を募集いたします。

### 募集期間

令和4年11月1日(火)～令和4年11月30日(水)

### 提出方法

次の①～③のいずれかの方法により提出してください。様式の定めはありません。ご自由に記載してください。

#### ①郵送

宛先：〒014-8601  
大仙市大曲花園町1番1号  
大仙市議会事務局あて

#### ②ファックス

番号：0187-62-8822  
(議会事務局専用)

#### ③メール

アドレス：gikai@city.daisen.lg.jp



こちらのQRコードから  
大仙市議会のお問い合わせページ  
(大仙市ホームページの議会のページ)  
にアクセスできます。



### 必要記載事項

- 住所・氏名および年齢を必ず記載してください。
- 郵送の場合は封筒の外側に、ファックスまたはメールの場合はタイトルに、「大仙市議会への声」と明記してください。

注1 いただいたご意見の要旨を、居住地、年代を示した上で、議会だよりやホームページで紹介させていただく場合があります。(掲載例)「大曲地域・40代」「中仙地域・50代」

注2 お電話による受け付けは行いませんので、ご了承ください。

注3 いただいたご意見は、大仙市議会への貴重な「声」として、プライバシーに配慮しながら、全議員へ閲覧させていただきます。



## 編集後記

皆さまの意見・要望を直接聞き、市の行政に反映させようと、平成24年度から始まった市政懇談会において、今回初めて日曜日にオンラインによる市政懇談会を開催しました。応募者多数だったらどうしようとの心配をよそに、わずか2人の参加に終わっております。どうやったら大仙市の政治に、行政に、議会の動きに関心を持ってもらえるか。依然として難しい課題が残ります。

夏の花火大会、全県・全国500歳野球大会が無事終了しました。豊穰の秋を迎え、今度は秋田県種苗交換会が当市で開催されます。ちよっとした声掛け、思いやりが人を楽しくさせてくれます。

県内外から訪れる人への温かいおもてなしで、大仙から笑顔を広げていきたいものです。

(委員 渡邊 秀俊)

### 広報広聴常任委員会

委員 長	古谷 武美
副委員長	挽野 利恵
委員 員	戸嶋貴美子
委員 員	秩父 博樹
委員 員	青柳 友哉
委員 員	小笠原昌作
委員 員	石塚 柏
委員 員	渡邊 秀俊

